

第 31 号

ボランティアの輪を広げよう

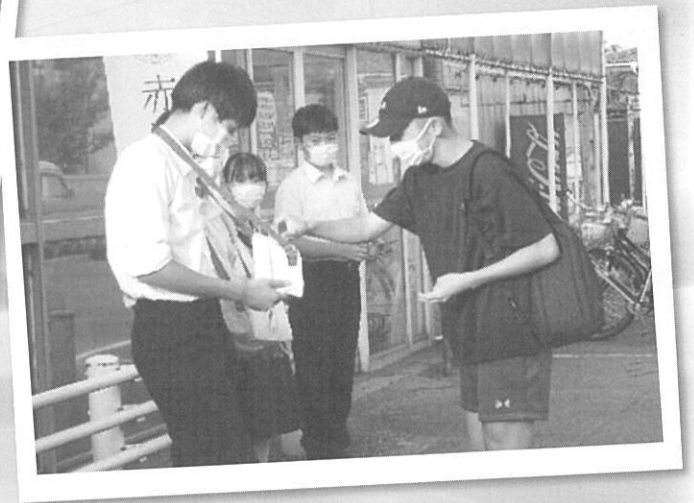
— 発 行 —

糸魚川市ボランティアセンター
糸魚川市ボランティア
連絡協議会
(糸魚川市社会福祉協議会内)
新潟県糸魚川市寺町4-3-1
TEL (025) 552-7700
FAX (025) 553-1657

糸魚川市 ボランティアだより

ボランティアに参加しませんか

あなたの力を社会に活かそう



やさしい心に感謝!!

今年度、糸魚川市駅北大火の全ての復興事業が竣工いたしました。そこで、当時ボラ連として、また大町区としても支援に携わっていた当会の齋藤伸一会長より当時の振り返りと、未来への展望も交えてご寄稿いただきました。

糸魚川市駅北大火からの復興

糸魚川市ボランティア連絡協議会 会長 齋藤 伸一

平成28年12月22日に発生した、糸魚川駅北大火から早6年が経過しました。糸魚川特有のフェーン現象の恐ろしさをいやというほど思い知らされたものです。



40mmホース消火訓練



火の用心夜回り

また、全国の人の思いやりをこれほど感じたことがありませんでした。義援金や救援物資及びボランティアに駆けつけた方の受け入れの為、早々にボランティアセンターを設置し対応しましたが、火災でセンター設置は初めてであり担当者は大変でありました。

程なくして被災者は、住居が安定し落ち着いた生活が送れるようになり、まちづくり復興を考えるようになりました。被災地域は道路の拡幅や無電柱化、また、200トンの大型防火水槽の新設・40mm消火ホースの配備・連動型火災警報器の設置等大火を教訓にした復興事業をいたしました。

住民自らは、大火で高まった復興意識を風化させない為、月に1度被災者や高齢者を対象に「お楽しみ会」を実施し、復興状況の情報周知や被災者の近況把握を行いました。また、大町・緑町・新七の三区防災会で40mm消火ホース取り扱い訓練の実施と、火災の恐ろしさを忘れる事の無く警戒心を持ち続けるための夜回りを、子どもたちと行いました。

防災は「自助」「共助」「公助」の三助が大切だと言われておりますが、大火で一人の死亡者もなかったことは近所の絆があったからだと思えます。是非「近所」でなく「近助」を組み入れ「四助」で近くの人同士助け合える地域社会を目指そうではありませんか。

私たちの活動紹介

糸魚川地区老人クラブ連合会

会長 比護山之助

老人クラブは、高齢期を楽しく生きがいを持って安心して暮らしていくために、「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組んでいます。糸魚川地区老人クラブ連合会は、町内や小地域で組織する「単位老人クラブ」が29クラブあり、次のような活動を行っています。

学習活動：交通安全講座、防犯講座、健康講座、調理講習、施設見学

クラブ活動：グラウンド・ゴルフ、輪投げ、卓球、囲碁、将棋、カラオケ

奉仕活動：清掃、草刈り、花壇づくりなどの環境美化、見守り、募金活動

親睦：茶話会、親睦旅行、季節の行事、お楽しみ会

その他、区や公民館行事への協力、子どもたちとの世代間交流など

糸魚川地区老人クラブ連合会では、単位老人クラブの枠を超えた交流や研修会、日頃の成果を発表する大会などを行っています。今年度は、創立50周年を迎え、記念式典や記念誌の発行、論文集の作成など記念事業を実施しました。

この節目を機に更なる発展を目指して活動に取り組んでいきます。



輪投げ大会



芸能のつどい

私たちの活動紹介

えがおの会

会長 猪又 洋子

えがおの会を紹介します。

「新潟県手をつなぐ育成会糸魚川支部」の時に本人部会が出来、親の会が解散後「えがおの会」となり数年たちます。



石塚友和さんの歌謡ショー



早川の藤見(月不見の池にて)

現在、本人、親、ボランティア総勢38名で活動しております。本人のやりたいことを自分たちで運営し楽しむことを目標に続けてきましたが、運営となるとなかなか難しいものがあります。それでも自分たちの会だという意識はいつも持たせるように考えています。

自分たちのやりたいことベスト3は、旅行・カラオケ・温泉です。旅行は年1回大型バスを借りて今までは長野県、能登半島へ行ってきました。カラオケ・温泉はセットで、他にボーリング、上越へ買い物、調理実習、歌手の石塚友和さんの歌を聴く、高波の池訪問などを楽しんできました。

ここ2年はコロナ禍でできることが制限され、令和4年は早川の藤見、お楽しみ会(マジックショー)のみでした。藤の花もコロナの為か(?)咲いていませんでした。

令和5年は何ができるでしょうか?あんなに若々しかったのに本人たちも親もだんだん年をとってきました。それでも、出来る範囲でみんなで集まり、楽しみたいと思っています。

能生地区赤十字奉仕団

委員長 五十嵐須磨子

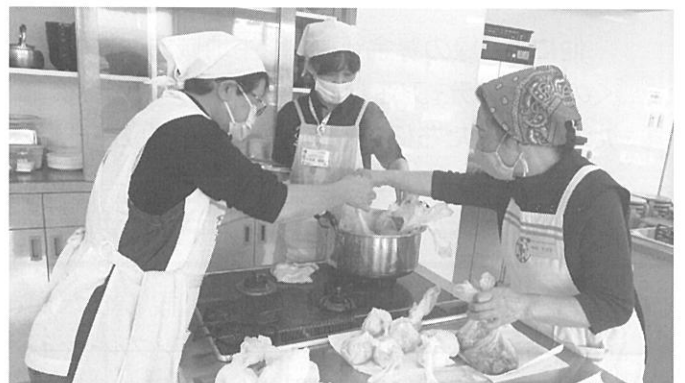
長びくコロナ禍、様々な制限のある中で例年通りの活動を目指し、創意工夫を図ってまいりました。

施設ボランティアの部では、能生生涯学習センターを会場にして、ウェス作りやおしぼり作りをしました。また、施設入所者の衣類やベッド柵カバーの補修を、腕自慢の会員の協力で自宅に持ち帰ってミシン作業をしました。この様にして要請された仕事全てに対応することができました。

次に自主研修は、「災害時における食」をテーマに、市の栄養士さんのご指導のもと「パッキング」の調理実習を行いました。「一般家庭でストックしてある食材を用い、ポリ袋を使って20分ゆでのみ」というコンセプトで、主食・主菜・副菜・デザートまで揃ったバランス食を難なく完成させることができました。コツは「ポリ袋に食材・調味料全てを入れてから空気を抜いて口を閉じること」です。かつては「ハイゼックス」という高価な専用袋を使って訓練していましたが、日常使用しているポリ袋の方が安価

でいつでも入手可能であり、使いやすく美味しくできました。アウトドアクッキングで楽しみながら訓練してみるのもいかがでしょうか。

- ☆パッキングのメニュー☆
- | | |
|------|--|
| 主食 | ・ごはん(米・水) |
| 主菜 | ・ツナカレー(ツナ缶・ジャガイモ・人参・玉葱・カレールー・水) |
| 副菜 | ・切り干し大根の煮物
(切干大根・干しいたけ・人参・玉葱・油揚げ・削り節・醤油・みりん他) |
| デザート | ・蒸しケーキ(ホットケーキミックス・バナナ・水) |



能生中学校ボランティア活動紹介

能生中学校は、地域の方々との関わりを大切にしています。そして生徒たちも地域社会への貢献を意識して中学校生活を過ごしています。そんな生徒たちが今年行ったボランティア活動の一部をご紹介します。

花街プロジェクト(地域へ花を届ける活動)

「街に潤いを」を合言葉に、文化活動部が中心となり、能生中学校で育てた花を地域にお届けしています。今年は能生駅、能生事務所、保育園、福祉事業所などへ花をお届けしました。



神道山清掃活動(ジオサイト活動)

9月26日(月)に1年生の総合の時間、ジオサイト活動として神道山登山を行いました。その際に、地域の美化活動として、神道山の清掃活動を行いました。短い時間でしたが、落ち葉などを集めることができました。地域の方が散歩に来られる際に、気持ちよく階段などを通して頂ければと思います。



赤い羽根募金活動

12月15日(木)から16日(金)の2日間で、生活委員会のメンバーで赤い羽根募金活動を行いました。普段学校にお金を持ってこない生徒たちも、お金を持ってきて募金を行ってくれました。寒い中募金活動に参加した生徒たちも、笑顔のあふれる時間になりました。



他にも、緑の募金活動、能生地域あいさつ運動、コットンプロジェクト、海岸清掃活動など、今年も多くのボランティア活動を行いました。コロナ禍で、生徒の活動が制限されることもありますが、能生中学生たちは自分たちにできることを精一杯がんばっています。地域で生徒たちを見かける機会がありましたら、温かいお声がけをお願いします。

編集後記

映画放映をよく観るのだが、先日のBS「ビューティフル・マインド」は中々面白かった。冬期間除雪のない日には、

このようにTV映画を観たり読書をしたりと余裕の時間を過ごすことができる。このまま春になって欲しい。否々そうもいくまいか。 広報部 杉ノ上